

**Sound
Blaster**

CREATIVE
WWW.CREATIVE.COM

BLASTER

PCI 4.1 Digital

Getting Started

User Manual

Sound Blaster PCI4.1 Digital

本書の内容は、予告無く変更される場合があります。Creative Technology Ltd. の責務を表すものではありません。電氣的、又は、機械的の別やその形式、方法を問わず、どのような目的であれこの説明書のいかなる部分も Creative Technology Ltd. の書面による許可を得ることなく、複製したり伝送したりすることは出来ません。これには写真複写や録音も含まれます。本書で説明されるソフトウェアは、ライセンス契約のもと供与されるものであり、ライセンス契約の条項に反してこれを使用したりコピーしたりすることは出来ません。ライセンス契約で特に許可されている場合を除き、ソフトウェアを他のメディアにコピーすることは法律違反となります。ライセンス受諾者は、バックアップとしてソフトウェアのコピーを1部作成することが出来ます。

Copyright © 1999-2002 Creative Technology Ltd. All rights reserved.

第3版 2002年2月

Sound Blaster、及び Blaster は、Creative Technology Ltd. の米国、又は、その他の国における登録商標で、Sound Blaster PCI のロゴ、EAX、Creative Multi Speaker Surround は、同社の商標です。SoundWorks は、Cambridge SoundWorks, Inc. の登録商標であり、MicroWorks、PC Works、及び FourPointSurround は、同社の登録商標です。Microsoft、MS-DOS、及び Windows は、Microsoft Corporation の米国、又は、その他の国における商標、又は、登録商標です。Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。

その他の全ての製品は、それぞれの所有者の商標、又は、登録商標です。

仕様は、全て予告なく変更される場合があります。この製品の使用は、限定保証の対象となります。実際の製品のパッケージ内容は、写真と異なる場合があります。ご了承ください。

この製品はあなたの所有する著作物を持っているか、もしくは著作権者からの複製の許可を得ているコンテンツの再生を支援するように設計されています。自分で著作権を持っていない場合、あるいは著作権者から複製の許可を得ていない場合は、著作権法に違反することになり、刑罰の対象となる場合があります。ご自身の権利について確信がない方は、本製品をご使用になる前に法律顧問等にご相談なさることをお勧めします。

このカードは、以下の1つ、又は、それ以上の合衆国特許を受けています。

4,506,579; 4,699,038; 4,987,600; 5,013,105; 5,072,645; 5,111,727; 5,144,676; 5,170,369; 5,248,845; 5,298,671; 5,303,309; 5,317,104; 5,342,990; 5,430,244; 5,524,074; 5,698,803; 5,698,807; 5,748,747; 5,763,800; 5,790,837.

目次

はじめに	1
必要なシステム構成の確認	2
本書の使い方	3
Windows 95 をお使いの場合の準備	5
サウンドカードの コンポーネント	6
サウンドカード、及び 関連するハードウェアの取り付け	7
Windows 95/98/Me へのソフトウェアのインストール	10
Windows NT 4.0/2000/XP へのソフトウェアのインストール	12
サウンドカードの テスト	14
スピーカーの設定	15
Sound Blaster PCI 4.1 Digital のバンドル アプリケーション	17
仕様	18
トラブルシューティング	20

はじめに



4スピーカー環境は、4チャンネル出力をサポートしたモデルでのみサポートされます。

Creative Sound Blaster™ PCI 4.1 Digital サウンドカードをご購入いただきましてありがとうございます。高品質のパフォーマンスと低い CPU 占有率により、Sound Blaster PCI 4.1 Digital はあなたのコンピュータにとって理想的な選択です。

高いサンプルレートのコンバーターと 128ボイスのウェーブテーブル合成エンジンにより、Sound Blaster PCI 4.1 Digital は高レベルの音質と性能を保証します。さらに、Sound Blaster PCI 4.1 Digital はヘッドフォンと 4スピーカーでの 3次元サウンドもサポートします。

Sound Blaster PCI 4.1 Digital は、SPDIF デジタル出力をサポートしています。

又、Sound Blaster PCI 4.1 Digital は、2台、又は、4台のスピーカーで MIDI や WAVE サウンドの空間的なサウンドエンハンスメントもサポートします。ウェーブテーブルサウンドでのリバーブやコーラスエフェクトを複数のアルゴリズムでサポートします。全二重動作により、オーディオの録音と再生を同時に行うことも可能です。

Sound Blaster PCI 4.1 Digital は、Sound Blaster 対応アプリケーション上での Sound Blaster 互換をほぼ完全に実現しています。

PCI バスとプラグアンドプレイ(PhP)テクノロジーを採用することにより、Sound Blaster PCI 4.1 Digital カードは最も取り付けの簡単なサウンドカードのひとつとなっています。Sound Blaster PCI 4.1 Digital は、高品質のサウンドを末永くコンピュータでお楽しみいただけるサウンドカードです。

必要なシステム構成 の確認

必要なサウンドカードのシステム環境は以下のとおりです。

- ☐ Intel Pentium II 以上、又は、Intel Pentium100% 互換 CPU を使用した 100%DOS/V 互換 PC
- ☐ Intel 純正のマザーボードチップセット、又は、100% 互換マザーボードチップセット
- ☐ 128MB 以上のメインメモリー
- ☐ Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0J、Windows 2000、又は、Windows XP
- ☐ PCI 2.1 仕様の空き PCI スロット 1 つ
- ☐ 空いている使用可能な IRQ 1 つ
- ☐ ヘッドフォン、又は、アンプ内蔵スピーカー(Creative Inspire シリーズ推奨)
- ☐ ソフトウェアインストール用の CD-ROM ドライブ
- ☐ INTERNET にアクセス可能な環境(ドライバのアップデートやユーザー登録の為に必須)

Windows NT 4.0J は、Service Pack 6 以上をサポート。Windows 2000 は SP2 以上で、Professional 版のみサポート。Windows NT 4.0J、及び Windows 2000 Professional の仕様により、このパッケージに記載されている機能や仕様が実現出来ない場合があります。又、Windows NT 4.0J、及び Windows 2000 Professional で動作がサポートされないアプリケーションがパッケージに含まれています。

SMR マルチプロセッサ 環境は、非サポート。

CPU アクセラレーター、及び ODR(Pentium ODP を含む)、i486(互換 CPU を含む)、Cyrix は、非サポート。

DOS/Windows 3.1 は、非サポート。

パッケージに同梱されているソフトウェアは、動作の際に上記のシステム構成より高い性能を要求する場合があります。

ゲームの快適な動作の為に、より高速な CPU、8MB 以上のテクスチャメモリーを搭載した最新の 3D グラフィックスアクセラレーターカード等、上記のシステム構成より高い性能を要求する場合があります。

本製品をご購入前に必ずお使いのコンピューターの物理的な条件(空き PCI 拡張スロットの有無)や IRQ 等のシステムリソースの確認をして下さい。省スペース設計のコンピューターをお使いの場合には、物理的な条件やシステムリソースの制限により、お使い頂けない場合があります。

注意1 : Sound Blaster PCI128用ドライバは、使用出来ません。

注意2 : このパッケージには、CDオーディオケーブルは同梱されていません。別途、MPC2、又は、MPC3仕様のCDオーディオケーブルを購入する必要があります。

注意3 : 本商品の外観、仕様、バンドルソフトウェア等のパッケージ内容、及び価格は、予告なく変更される場合があります。

注意4 : インストールCDはマルチ言語版です。

注意5 : マニュアル、及び保証書は、PDFファイル (adobe Acrobat形式) としてインストールCD-ROMに収録されています。

本書の使い方

本書では、サウンドカードのさまざまなハードウェアコンポーネントについての説明とともに、コンピューターへのカードの取り付け方法が示されています。又、Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XPへのソフトウェアのインストール方法についても説明されています。本書の終わりには、サウンドカードの仕様が示されています。

詳細情報

パッケージに含まれるアプリケーションの使い方に関する情報と手順の詳細は、オンラインのユーザーズガイド(ヘルプファイル)を参照して下さい。




表記の規則

このガイドでは、必要な情報を探しやすくするために、以下の表記規則が使用されています。

表 i 文章の表記規則

文章の要素	使用法
太文字	表記通りに入力すべきテキスト。
イタリック	本やブレースホルダーの表題。又は、ユーザーが入力しなければならない情報を意味します。
大文字	ディレクトリ名、ファイル名、又は、頭字語
< >	キーボードの記号、文字、及びキーの名前。

表 ii アイコン

アイコン	使用法
	ノートパッドのアイコンで示されている情報は、特に重要な情報なので、先に進む前に必ず読む必要があります。
	目覚し時計のアイコンは、問題を回避するための注意点、警告を示しています。
	この警告サインは、指示に従わなかった場合、怪我をしたり命に関わるような状況となることを示します。

Windows 95 を お使いの場合の準備

Windows 95 をお使いの場合は、10 ページの「Windows 95/98/Me へのソフトウェアのインストール」に進む前に、Windows のバージョン番号を調べる必要があります。

Windows のバージョン番号を確認するには：

1. コンピューターのスイッチを ON にします。
2. [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントして [コントロールパネル] をクリックします。
3. [コントロールパネル] ウィンドウの [システム] アイコンをダブルクリックします。Windows 95 のバージョン番号は、[システムのプロパティ] ダイアログボックスの [情報] タブのページに表示されます。
4. バージョン番号をメモします。

Windows 95 には、以下のバージョンがあります。

- ☐ 4.00.950
- ☐ 4.00.950a
- ☐ 4.00.950 B(OSR2.0)
- ☐ 4.00.950b
- ☐ 4.00.950 C(OSR2.5)

サウンドカードの コンポーネント



ジャックコネクタは1穴の接続インタフェース、コネクタは対をなす多くのピンで構成されています。



モノラルミニプラグを挿入すると自動的に判別され、SPDIFデジタルオーディオが出力されます。ステレオミニプラグを挿入した場合は、アナログオーディオが出力されます。



- リア出力ジャックは4チャンネルサウンドカードでのみサポートされています。
- SPDIF出力は特定のサウンドカードでのみ使用出来ます。この機能を使用する場合は、オンラインヘルプを参照してSPDIF出力モードを選択して下さい。SPDIF出力をサポートしているサウンドカードにはJP1ジャンパーがありません。
- サウンドカードにJP1ジャンパーがある場合は、ライン出力ジャックでスピーカー出力モードがサポートされています。

サウンドカードには、他の機器を接続出来る以下のジャックやコネクタがあります。

ステレオライン入力 ジャック(青)

外部デバイスからのアナログソースを接続します。

マイクロフォン入力ジャック(赤)

音声入力用のコンデンサマイクを接続します。

ライン出力ジャック(緑)

ヘッドフォン、アンプ付きスピーカー、アンプ内蔵4chスピーカーのフロント、外付けアンプを接続します。SPDIFの出力は、モノラル3.5mmミニプラグ(別売)から得られます。

リア出力ジャック(黒)

アンプ内蔵4chスピーカーのリアを接続します。

ジョイスティック / MIDI コネクタ

ジョイスティック、又は、MIDIデバイスを接続します。

TAD / モデムコネクタ

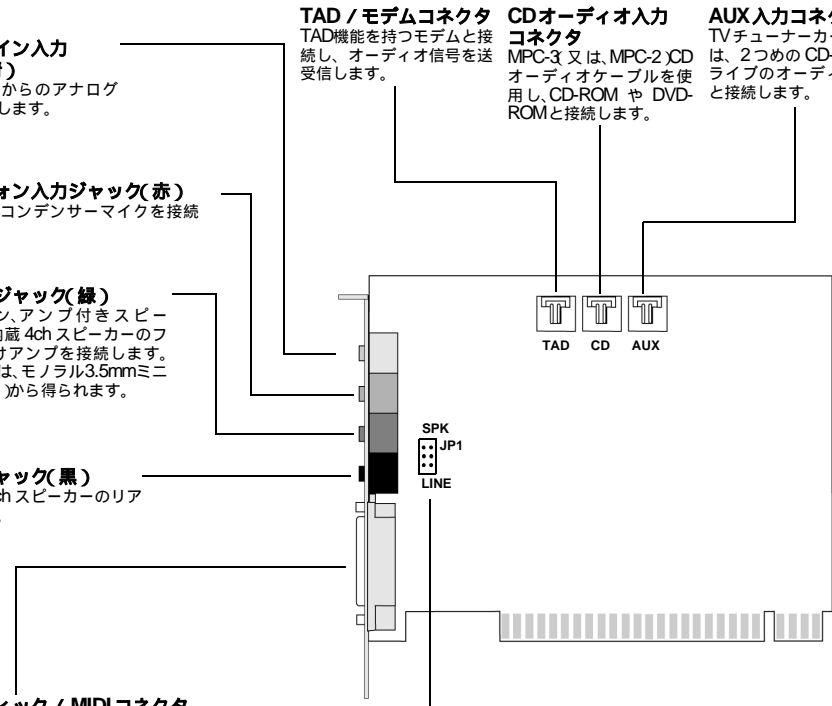
TAD機能を持つモデムと接続し、オーディオ信号を送受信します。

CDオーディオ入力 コネクタ

MPC-3又は、MPC-2)CDオーディオケーブルを使用し、CD-ROMやDVD-ROMと接続します。

AUX入力コネクタ

TVチューナーカード、又は、2つめのCD-ROMドライブのオーディオ出力と接続します。



フロントライン出力 / スピーカー出力ジャンパー(JP1)

緑のジャックでライン出力モード(デフォルト)、又は、スピーカー出力モードのどちらを使用するかを選択します。スピーカー出力をサポートしていないサウンドカードには、このジャンパーはありません。

市販されているオーディオ用モノラルミニプラグ-ピンジャックアダプターを別途、購入して下さい。ピンジャックに接続するケーブルは、同軸デジタルオーディオ用ピンプラグケーブルを使用して下さい。

図1 サウンドカードのジャック、及びコネクタ

サウンドカード、及び 関連するハードウェア の取り付け



主電源を切り、電源コードをコンピュータから取り外して下さい。ソフトウェアで電源を切る機能が装備された ATX 電源ユニットを使用するシステムでは、電源はオフの状態でも PCI のスロットに電源が供給されていることがあります。この場合、サウンドカードをスロットに差し込むと故障する可能性があります。



既に取り付けられている別のサウンドカードがあれば取り外し、オーディオ機能がマザーボード上に装備されている場合は無効にして下さい。

1. コンピューター、及び周辺機器全ての電源を切り、コンピューターの金属部分に触れ、帯電した静電気を放電します。
2. 電源コードを壁のコンセントから抜き取り、コンピューターのカバーを取り外します。
3. 未使用の PCI スロットを探し出します。コンピューター背面の金属プレートを取り外し、サウンドカード用のスペースを確保します。ネジは、後で使用するので、別に保管しておきます。

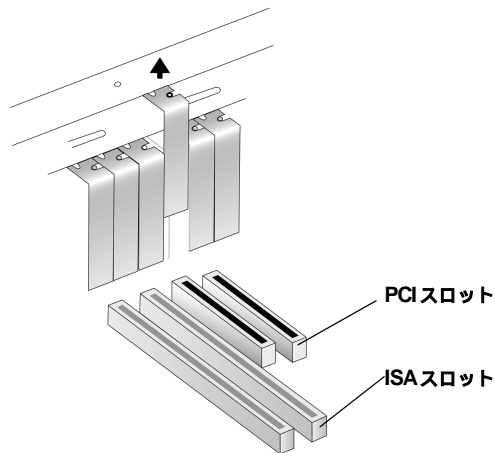


図2 金属プレートの取り外し



サウンドカードは無理に PCI スロットに差し込まないで下さい。サウンドカードを PCI 拡張スロットに差し込む前に、サウンドカードの PCI バスコネクタと、マザーボードの PCI スロットコネクタの位置が合っていることを確認して下さい。

4. サウンドカードの PCI バスコネクタをコンピューターの PCI 拡張スロットの位置に合わせ、無理な力をかけないようにカードを PCI スロットに押し込みます。サウンドカードの PCI バスコネクタがコンピューターの PCI 拡張スロット内にしっかり収まっていることを確認します。

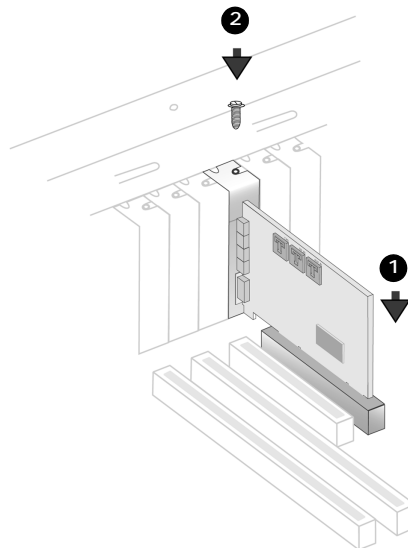


図3 PCIスロットへのカードの取り付け



アナログ CD オーディオケーブルは、
パッケージには同梱されていません。

5. CDオーディオケーブルをCD-ROM、又は、DVD-ROMドライブのアナログオーディオ出力コネクタと接続し、その後、サウンドカードのCDオーディオコネクタに差し込みます。アンプ内蔵スピーカーをライン出力ジャックに差し込みます。モデムやビデオカードの接続を含む、その他の内部接続を行います。

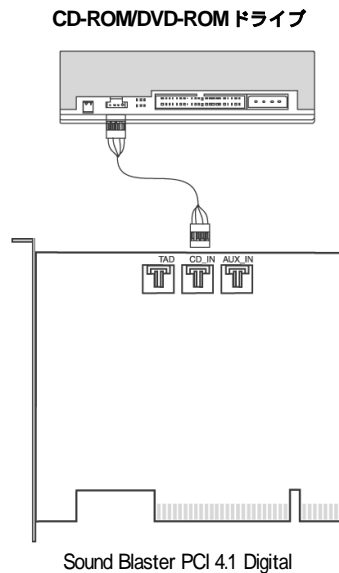


図4 CD-ROM、又は、DVD-ROM ドライブへの接続

6. コンピューターのカバーを元どおりに取り付けます。全てのコンポーネントをそれぞれの差込口に接続します。これでコンピューターを起動することが出来ます。

Windows 95/98/Me へのソフトウェアの インストール

- ☐ Windows 95/98/Me へのソフトウェアインストール
- ☐ Windows 95 リテール版へのオーディオドライバのインストール(4.00.950、及び 4.00.950a)
- ☐ Windows 95 OSR2 版へのオーディオドライバのインストール(4.00.950B、4.00.950b、及び 4.00.950C)
- ☐ Windows 98/98 SE/Me へのオーディオドライバのインストール
- ☐ Windows 95/98/Me からの Sound Blaster PCI 4.1 Digital のアプリケーション、及びドライバの削除

インストール CD はマルチ言語版になっています。日本語版ソフトウェアをインストールする場合、インストールメニューから [日本語] を選択する必要があります。日本語版ソフトウェア中には一部、英語版プログラムが含まれています。

Windows 95/98/Me へのソフトウェアのインストール



インストール CD からインストールしたい言語を選択すれば、ドライバとアプリケーションが自動的にインストールされます。ドライバのみをインストールしたい場合には、それぞれご使用の OS に対応した各オーディオドライバのインストールの説明に従ってインストールして下さい。

1. Sound Blaster PCI 4.1 Digital カードを取り付けた後、コンピューターの電源を入れます。
2. Windows の画面上で、オーディオドライバのインストールを促すダイアログボックスが表示されたら [キャンセル] ボタンをクリックします。
3. インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
4. ご使用のシステムで CD-ROM の自動再生が有効になっている場合は、Sound Blaster PCI 4.1 Digital のインストールメニュー画面が表示されます。
5. インストールしたい言語を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
6. 画面の指示に従って、インストールを完了します。
7. 指示に従って、システムを再起動します。

Windows 95 リテール版へのオーディオドライバのインストール



デバイスマネージャ上の表示は「SB PCI」になります。製品名とは表示が異なります。使用上の問題はありません。

1. Windows 95 が、新たにコンピューターに取り付けられたハードウェアを自動的に検出します。
2. サウンドカードの [新しいハードウェアを検出] ダイアログボックスで、[製造元の供給するディスクからドライバをインストールする] チェックボックスを選択し、[OK] ボタンをクリックします。
3. インストール CD を、CD-ROM ドライブに挿入します。
4. [ディスクからインストール] ダイアログボックスで、
D:\¥Audio¥Common¥ENQDrivers¥Win9xDrv
(D:\¥ は CD-ROM ドライブが D ドライブであることを表しています。ご使用の CD-ROM ドライブが D 以外の場合には (例えば E) そのドライブ名を指定して下さい) と入力し、[OK] ボタンをクリックします。
5. 画面の指示に従って、オーディオドライバのインストールを完了します。

Windows 95 OSR2 版へのオーディオドライバのインストール

1. Windows 95 が、新たにコンピューターに取り付けられたハードウェアを自動的に検出します。
2. インストールCDを、CD-ROMドライブに挿入します。
3. [デバイスドライバの更新ウィザード] ダイアログボックスで、[次へ] ボタンをクリックします。
4. [その他の場所] オプションをクリックします。
5. ドライバへのパスを直接入力するか、又は、[参照] ボタンをクリックしてドライバの場所を選択します。ドライバは、D:\¥Audio¥Common¥ENQDrivers¥Win9xDrv(D:\¥はCD-ROMドライブがDドライブであることを表しています。ご使用のCD-ROMドライブがD以外の場合には(例えばE) そのドライブ名を指定して下さい。)
[OK] ボタンをクリックします。
6. [終了] ボタンをクリックします。

システムが再度インストールCDを要求した場合は、[OK] ボタンを押し、上の手順5からの処理を繰り返します。
オーディオドライバがシステムにコピーされます。

Windows 98/98 SE/Me へのオーディオドライバのインストール

1. [新しいハードウェアを追加] ウィザードが Sound Blaster PCI 4.1 Digital カードを自動的に検出し、製造元の供給するドライバのメディアの場所を探し出します。Sound Blaster PCI 4.1 Digital インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入し、[次へ] ボタンをクリックします。
2. [デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)] オプションを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。
3. 全てのチェックボックスの選択を一度解除し、[場所を指定] チェックボックスのみを選択します。ドライバへのパスを入力するか、又は、[参照] ボタンをクリックして、ドライバの場所を示します。ドライバは、D:\¥Audio¥Common¥ENQDrivers¥Win9xDrv(D:\¥はCD-ROMドライブがDドライブであることを表しています。ご使用のCD-ROMドライブがD以外の場合には(例えばE) そのドライブ名を指定して下さい。)
[OK] ボタンをクリックします。
4. [次へ] ボタンをクリックして、Windows 98/98 SE/Me のドライバをインストールします。
5. インストールが完了したら、[終了] ボタンをクリックします。
6. 指示に従って、システムを再起動します。

Windows 95/98/Me からの Sound Blaster PCI 4.1 Digital の アプリケーション、及び ドライバの削除



「スタートメニュー」の「プログラム」、
「Creative」グループ上の表示は、「Sound
Blaster PCI」になります。



Windows の種類によって [コントロー
ルパネル] を表示させる操作が異なり
ます。お使いの Windows 上での操作の
詳細は、Windows のオンラインヘルプ
をご覧ください。

Windows NT 4.0/ 2000/XP へのソフト ウェアのインストール

問題の解決やコンフィギュレーションの変更、あるいはバージョン更新のためアプリケーションを再インストールする前に、下記の手順でアプリケーションを完全に削除して下さい。この手順は基本的に全ての Windows オペレーティングシステムに共通です。

1. サウンドカードのアプリケーションを起動している場合は終了させます。アンインストール時に起動しているアプリケーションは削除されません。
2. [スタート] [設定] [コントロールパネル] の順にクリックしていきます。
3. [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。
4. [アプリケーションの追加と削除のプロパティ] ダイアログボックスが表示されたら、アプリケーションを削除する場合は、Sound Blaster PCI を選択し、ドライバのみを削除する場合は、Creative PCI Audio Drivers を選択します。
[追加 / 削除] ボタンをクリックします。
5. [Creative アンインストーラー] ダイアログボックスが表示されたら、その指示に従って削除を行います。
6. [OK] ボタンをクリックし、[アプリケーションの追加と削除のプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。
7. 画像の指示に従ってコンピューターを再起動します。

Windows NT 4.0/2000/XP の環境で、正しくオーディオドライバをインストールする方法について示します。この章は、以下の項で構成されます。

- ☐ Windows NT 4.0/2000/XP へのソフトウェアのインストール
- ☐ Windows NT 4.0/2000/XP へのオーディオドライバのインストール
- ☐ Windows NT 4.0/2000/XP からの Sound Blaster PCI 4.1 Digital のアプリケーション、及びドライバの削除
- ☐ Windows NT 4.0 サービスコントロールマネージャーのエラーメッセージが表示された場合

インストール CD はマルチ言語版になっています。日本語版ソフトウェアをインストールする場合、インストールメニューから [日本語] を選択する必要があります。日本語版ソフトウェア中には一部、英語版プログラムが含まれています。

ソフトウェアのインストール



実際の画面上での表示は、この説明と一部異なる場合があります。

1. Sound Blaster PCI 4.1 Digital カードを取り付けた後、コンピューターの電源を入れます。
2. Windows の画面上で、オーディオドライバのインストールを促すダイアログボックスが表示されたら [キャンセル] ボタンをクリックします。
3. Sound Blaster PCI 4.1 Digital インストールCD を CD-ROM ドライブに挿入します。
インストールメニュー画面が表示されます。
4. インストールしたい言語をメニューより選択します。
5. 画面の指示に従って、インストールを完了します。

注意 : Windows 2000 は、ご使用になっているサウンドカードの基本的なサウンドドライバしかインストールしません。
最新のサウンドドライバをインストールするには、製品に付属のインストールCD を使用し、上記の手順に従って下さい。

Windows NT 4.0/2000/XP へのオーディオドライバのインストール



オーディオドライバのみをインストールしたい場合にこの説明をご覧ください。

1. Windows NT 4.0/2000/XP が、新たにコンピューターに取り付けられたハードウェアを自動的に検出します。
2. サウンドカードの [新しいハードウェアを検出] ダイアログボックスで、[製造元の供給するディスクからドライバをインストールする] チェックボックスを選択し、[OK] ボタンをクリックします。
3. インストールCD を、CD-ROM ドライブに挿入します。
4. [ディスクからインストール] ダイアログボックスで、
Windows NT 4.0 の場合は、D:\¥Audio¥Common¥ENQDrivers¥Nt4drv
Windows 2000/XP の場合は、D:\¥Audio¥Common¥ENQDrivers¥Wdmdrv
(D:\¥ は CD-ROM ドライブが D ドライブであることを表しています。ご使用の CD-ROM ドライブが D 以外の場合には (例えば E) そのドライブ名を指定して下さい)

画面の指示に従って、オーディオドライバのインストールを完了します。

Windows NT 4.0/2000/XP からの Sound Blaster PCI Digital のアプリケーション、及びドライバの削除

12 ページの「Windows 95/98/Me からの Sound Blaster PCI 4.1 Digital のアプリケーション、及びドライバの削除」のセクションを参照して下さい。このセクションの情報は Windows NT 4.0/2000/XP にも適用されます。

Windows NT 4.0 サービスコントロール マネージャーのエラー メッセージが表示された 場合



実際の画面上での表示は、この説明と一部異なる場合があります。

システムを再起動した際、他のエラーメッセージとともにサービスコントロールのエラーメッセージが表示されるという現象は、Sound Blaster PCI 4.1 Digital カードの取り付けに成功した後、コンピュータからサウンドカードを取り外すと発生します。これは、取り外されたサウンドカードのドライバがカードを認識出来ないためです。

問題を解決するには：

1. 管理者としてコンピュータにログオンします。
2. [スタート] ボタンをクリックし、ポインタを [設定] に移動して [コントロールパネル] をクリックします。
3. [マルチメディア] アイコンをダブルクリックし、[デバイス] タブをクリックします。
4. 以下のアイテムをリストから削除します。
 - ☐ オーディオデバイス
 - ☐ MIDI デバイスとインストゥルメンツ以下を除くアイテム
 - SB PCI のオーディオ
 - SB PCI の MIDI
5. [OK] ボタンをクリックし、ダイアログボックスを閉じます。
ドライバが削除されます。

サウンドカードの テスト

ドライバをインストールすると、Creative PlayCenter を使用して、サウンドカードが正しく動作しているかどうかをテストすることが出来ます。

1. [スタート] [プログラム] [Creative] [Creative PlayCenter] の順にクリックします。
2. [ファイル] をクリックし、[開く] をクリックします。
3. [参照] ボタンをクリックします。[開く] ダイアログボックスが表示されます。
4. 拡張子が .WAV のファイルを探し出し、クリックします。
5. [OK] ボタンをクリックします。選択したサウンドが再生されます。問題が発生した場合は、Sound Blaster PCI オンラインヘルプの「トラブルシューティング」のセクションを参照して下さい。

スピーカーの設定

Sound Blaster PCI 4.1 Digital のデフォルトのスピーカー設定は、Windows 95/98/98 SE では [2スピーカー] に、NT 4.0 の場合は、[ステレオスピーカー] に、Windows Me/2000/XP の場合は、[デスクトップステレオスピーカー] に設定されています。ご使用の Windows オペレーティングシステムによって、以下の手順でスピーカーの設定を変更します。

Windows 95/98/98 SE の場合

1. [スタート] [設定] [コントロールパネル] の順にクリックします。
2. [システム] アイコンをダブルクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
3. [デバイスマネージャ] タブをクリックします。
4. ハードウェアの一覧から [サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ] オプションをダブルクリックします。
5. [SB PCI] をクリックします。
6. [プロパティ] ボタンをクリックします。
[SB PCI のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
7. [3D オーディオ] タブをクリックし、使用するスピーカー設定を選択します。
8. [OK] ボタンをクリックします。詳細は、Sound Blaster PCI オンラインユーザーズガイドの「Sound Blaster PCI 128」
「SB PCI 128 のコンフィグレーション」
「スピーカーモードの変更」セクションを参照して下さい。

Windows Me/2000 の場合

1. [スタート] [設定] [コントロールパネル] の順にクリックします。
2. [サウンドとマルチメディア] アイコンをダブルクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
3. [オーディオ] タブをクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。
4. [オーディオの詳細プロパティ] の [スピーカー] タブのページで、[スピーカーの種類] リストダウンボックスから使用するスピーカー設定を選択します。
5. [OK] ボタンをクリックします。

Windows XP の場合

1. [スタート] [コントロールパネル] の順にクリックします。
2. [サウンド、音声、およびオーディオデバイス] [サウンドとオーディオデバイス] [サウンドとオーディオデバイスのプロパティ] を表示させます。
3. [オーディオ] タブをクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。
4. [オーディオの詳細プロパティ] の [スピーカー] タブのページで、[スピーカーの種類] リストダウンボックスから使用するスピーカー設定を選択します。
5. [OK] ボタンをクリックします。

Windows NT 4.0 の場合

1. [スタート] [設定] [コントロールパネル] の順にクリックします。
2. [マルチメディア] アイコンをダブルクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
3. [デバイス] タブをクリックします。
4. [オーディオデバイス] オプションをダブルクリックします。
5. [SB PCI のオーディオ] オプションをクリックし、[プロパティ] ボタンをクリックします。
6. [設定] ボタンをクリックします。
7. [コンフィグレーション] ボックスで、使用するスピーカー設定を選択します。
8. [OK] ボタンをクリックします。

詳細は、Sound Blaster PCI オンラインユーザーズガイドを参照して下さい。

Sound Blaster PCI Digital のバンドル アプリケーション

Creative Mixer

サウンドカードを最大限活用するため、Sound Blaster PCI 4.1 Digital には以下のアプリケーションが含まれています。これらのアプリケーションについての詳細や使用方法は、オンラインヘルプファイルで知ることが出来ます。

注意：アプリケーション、及び機能によっては、Windows NT 4.0/2000 で使用出来ないものもあります。

Creative Configurator

さまざまなオーディオソースのサウンドをコントロールしたり、処理したりすることが可能となります。オーディオソースのボリュームを調節したり、再生や録音時に異なるオーディオソースを選択してミックスすることも出来ます。

Creative PlayCenter

スピーカーや MIDI Waveset の設定を行うことが出来ます。

このプレーヤーだけで、マルチメディアファイル(MIDI、Wave、MP3 など)やオーディオ CD、そしてビデオ CD など、ほとんどの種類のメディアを再生することが出来ます。メディアをセット、又は、選択するだけで、あとは PlayCenter が全て行います。

Creative Recorder

マイクやオーディオ CD など、さまざまな入力ソースからのサウンドやミュージックを録音し、Wave ファイル(.wav)として保存することが出来ます。

Creative MiniDisk Center

MiniDisk(MD)レコーダーなどのデジタルレコーダーにサウンドやミュージックを録音することが出来ます。

Creative WaveStudio

以下のサウンド編集機能を簡単に実行することが出来ます。

- ☐ 8ビット(テープ品質)及び16ビット(CD品質)の Wave データの再生、編集、及び録音。ラップ、リバーブ、エコー、ミュート、パニング、切り取り、コピー、貼り付けなど、さまざまな特殊効果や編集操作を使用して、Wave データを強化したり独自のサウンドを作成したりしてみてください。
- ☐ 同時に複数の Wave ファイルを開いて編集。
- ☐ 未加工データファイル(.RAW)のインポート、及びエクスポート。

仕様

ウェーブテーブル合成

- ☐ Creative ウェーブテーブル合成エンジン
- ☐ リバース、及びコーラス用デジタルエフェクトエンジン
- ☐ 128ボイスポリフォニー、及び16チャンネルマルチティンバー機能
- ☐ 16のMIDIチャンネル、128のGM、及びGS互換インストゥルメント、10のドラムキット
- ☐ MT-32互換インストゥルメントセット
- ☐ 2MB、4MB、及び8MBのサンプルセット付属

3Dオーディオテクノロジー

- ☐ 4スピーカーで、Microsoft DirectSound、DirectSound 3D、及びCreative Environmental Audio Extensions(EAX)オーディオテクノロジーをサポート
- ☐ 従来の2スピーカーシステムで音の広がりを拡張する、3Dポジショナルサウンドテクノロジー
- ☐ マルチアルゴリズムのリバース、及びコーラス

メモリーサブシステム

- ☐ ウェーブテーブルサンプルにコンピューターのメインメモリーを利用
- ☐ 2MB、4MB、又は、8MBにユーザー設定が可能

CDクオリティの16ビット ステレオデジタルオーディオ

- ☐ 8ビット、及び16ビットのモノラル、ステレオ録音と再生
- ☐ 5kHzから48kHzの間でユーザーが選択可能なサンプルレート
- ☐ 全二重のサポートにより、インターネット上での全二重通信、及び同時録音 / 再生が可能

MIDIインタフェイス / ジョイスティックポート

- ☐ 15ピンMIDIインタフェイス内蔵(ケーブルは別売)
- ☐ Sound Blaster、及びMPU-401 UARTモード互換
- ☐ IBM互換のアナログジョイスティックをサポートする15ピンジョイスティックポート

ジャック、及びオンボード
コネクタ

- ☐ ライン入力(ステレオ)
- ☐ マイクロフォン入力
- ☐ ライン出力(ステレオ)
- ☐ リア出力(ステレオ)
- ☐ ジョイスティック / MIDIポート
- ☐ TAD入出力
- ☐ MPC-3 CDオーディオ入力
- ☐ AUX入力 / TVチューナー

以下の規格と互換

- ☐ Windows 95/98/Me
- ☐ Windows NT 4.0
- ☐ Windows 2000
- ☐ Windows XP
- ☐ General MIDI
- ☐ MPC-3
- ☐ Plug and Play
- ☐ Sound Blaster PCI
- ☐ Microsoft DirectSound、DirectSound3D、及びこれに派生する API
- ☐ EAX

トラブル シューティング

SB PCI Legacy Device の無効 の設定方法

SB PCI Legacy Device を無効に設定する方法は、以下の通りです。

1. デバイスマネージャを表示させます。
[スタート] [設定(S)] [コントロールパネル(C)] でコントロールパネルが表示されたら、[システム] アイコンをマウスの左ボタンでダブルクリックします。
2. SB PCI のプロパティを表示させます。
3. [設定] のタブを選択します。[レガシーエミュレーションを有効にする] のチェックマークを外します。
4. [OK] をクリックします。デバイスマネージャを閉じて、コンピューターを再起動させます。

WAVE と MIDI を同時に使用する ゲームを実行させる場合

WAVE と MIDI を同時に使用するゲームを実行する場合には、スピーカーの設定を、4 スピーカーではなく、2 スピーカーの設定にしなければならない場合があります。

この設定を正しく行わないと、MIDI が再生されない場合があります。

設定方法は、以下の通りです。

1. デバイスマネージャを表示させます。
[スタート] [設定(S)] [コントロールパネル(C)] でコントロールパネルが表示されたら、[システム] アイコンをマウスの左ボタンでダブルクリックします。
2. SB PCI のプロパティを表示させます。
3. [3D オーディオ] のタブを選択します。
2 スピーカーを選択して [OK] をクリックします。

音楽 CD (オーディオ CD) 再生

Sound Blaster PCI 4.1 Digital の 4 スピーカー再生は、DirectX のダイレクトサウンド機能を利用しています。そのため、DirectX のダイレクトサウンド機能を利用していない音楽 CD の再生時には、4 スピーカーでは再生されません。

インテル互換チップセット搭載
のマザーボードにインストール
する場合

インテル互換チップセット(VIA社の MVP3チップセット等)搭載のマザーボードに Sound Blaster PCI 4.1 Digitalを取りつける場合には、Windows 95/98のインストール完了後に、IRQのrouting miniport driverを正しくインストールしないとサウンドカードが正常に認識されません。

又、異常なノイズが再生される場合があります。このような場合には、最新の IDE のドライバをインストールしなければなりません。

IRQ の routing miniport driver や IDE のドライバに関しては、マザーボードメーカー、又は、VIA 社より配布されています。詳細については、お使いのマザーボードメーカーにお問い合わせ下さい。

デバイスマネージャ上でのデバ
イス名の表記について

デバイスマネージャ上でのデバイス名の表記は、SB PCI となり、製品名とは異なります。使用上の問題はありません。